

消滅可能性都市緊急対策本部の設置と対策の方向性

5月8日 日本創成会議による発表

- 2010年から2040年時点の市区町村別人口推計で、20~39歳の女性人口が50%以上減少する自治体 ⇒ 全国896自治体「消滅可能性都市」
- 東京23区では唯一豊島区が消滅可能性都市とされた

区長を本部長に関係部課長で構成

区民からの不安の声

推計に影響を与えたと考えられる要因と現状

- 0~19歳の年少人口割合、合計特殊出生率の低下 ⇒ いずれも、ここ数年増加傾向に転じている
- 20~39歳代女性流入人口が将来減少していくとの予測 ⇒ 「住みたい街」として、女性からの支持が上昇

緊急対策本部の設置

5月16日 第1回本部会議開催

5月26日 第2回本部会議開催

緊急対策(風評被害)と中長期的対策の検討

対策の2つの柱

地方との共生

全国の47交流自治体のうち25自治体が消滅可能性都市

- 防災、文化・観光、産業、教育、安全安心(セーフコミュニティ)沿線サミット(西武線・東武東上線)
- 個別分野ごとの交流から共生のための自治体ネットワークへ

日本一の高密都市だからこそ共生モデルの提示

女性が暮らしやすい地域社会づくり

- 男女共同参画推進、子育て支援、女性・家庭相談、DV被害対策、母子保健、女性の健康・医療 など

女性の声の反映

女性の視点に立った総合的な施策展開

個別分野ごとの展開から施策の横断化へ

としま F1会議

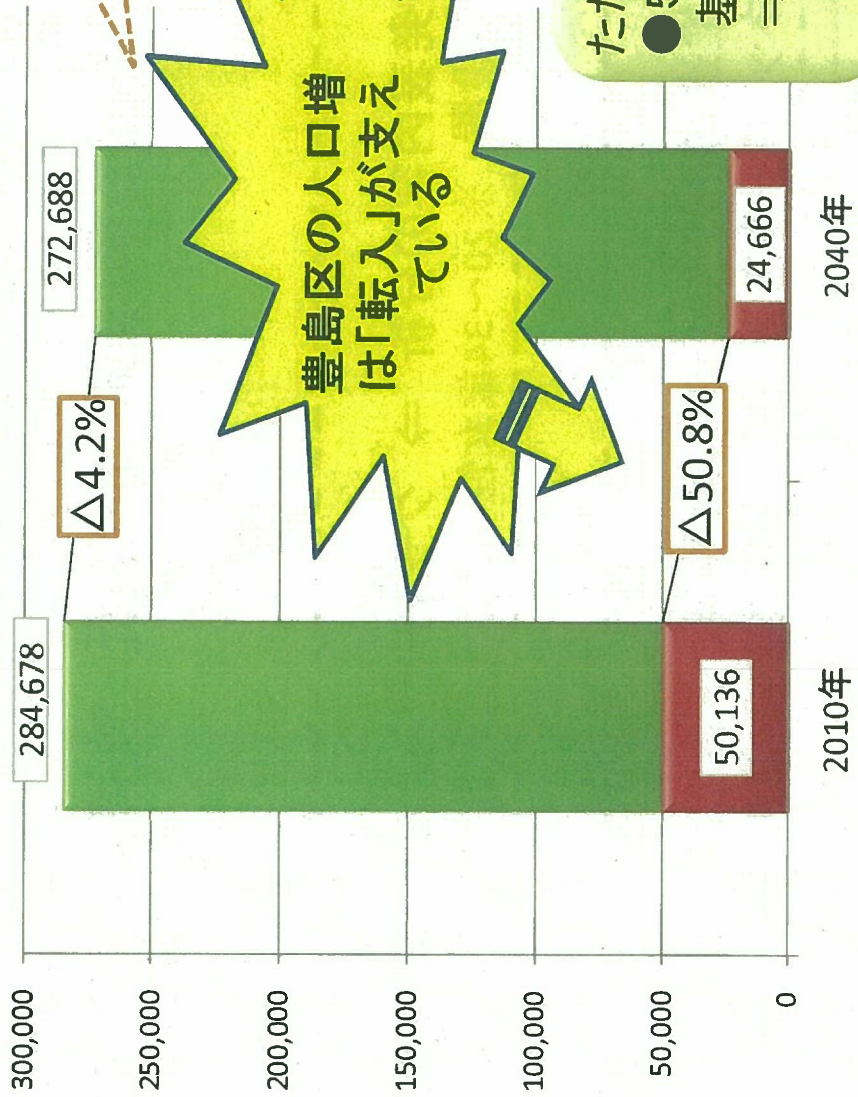
日本創成会議の発表(H26. 5. 8)

2040年までに20~39歳の女性が半分以下に減る恐れのある自治体(消滅可能性自治体)が896に上ると推計

ストップ少子化

地方元気戦略

豊島区 女性の人口推計(日本創成会議)



豊島区は23区で唯一「消滅可能性都市」に

【理由①】
未成年女性が少ない

【理由②】
転入人口が減る予測

ただし、

- 5年に1度の国勢調査に基づき試算
- ⇒住民基本台帳による最新トレンドは別傾向!

「消滅可能性都市」緊急対策本部

- 平成26年5月16日(金) 発足
- 本部長＝区長
副区長・教育長以下、政策経営部、総務部、保健福祉部、子ども家庭部、保健所、教育総務部の部課長が参加

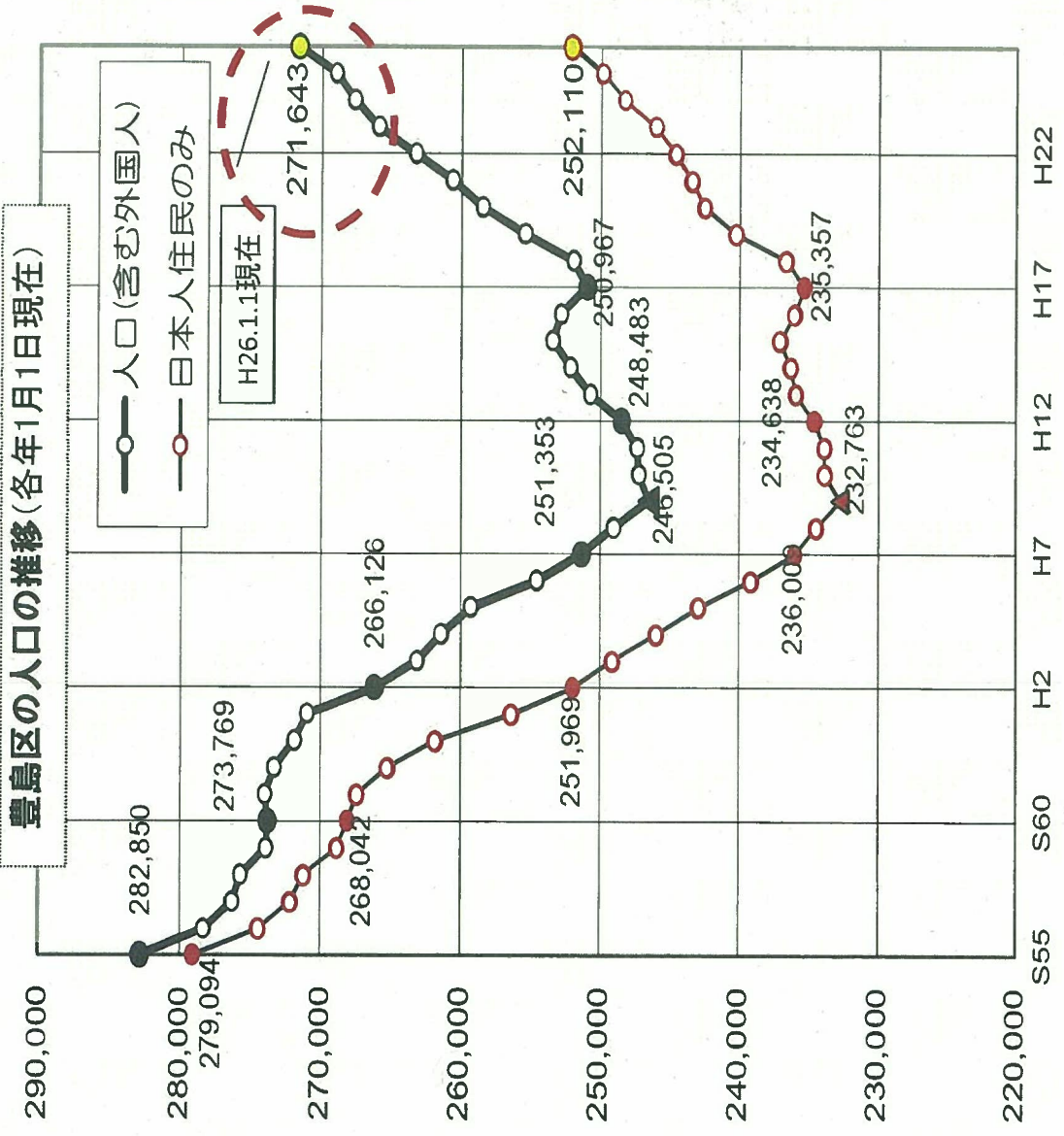
緊急対策

- ・日本創成会議の発表内容の分析 ⇒ グラントビジョン推進懇談会
- ・「としまF1会議」の設置 ※20～34歳女性などの意見を集約

中長期的対策

- ・総合的な対策の推進(ワークライフバランス、住環境、子育て支援等)
- ・交流自治体とのネットワークを活かした人口維持政策の推進

● 着実に人口が増える豊島区①



豊島区の人口は、
H9年の246,505人
を底に増加傾向。
-H26.5.1現在は、
274,073人。

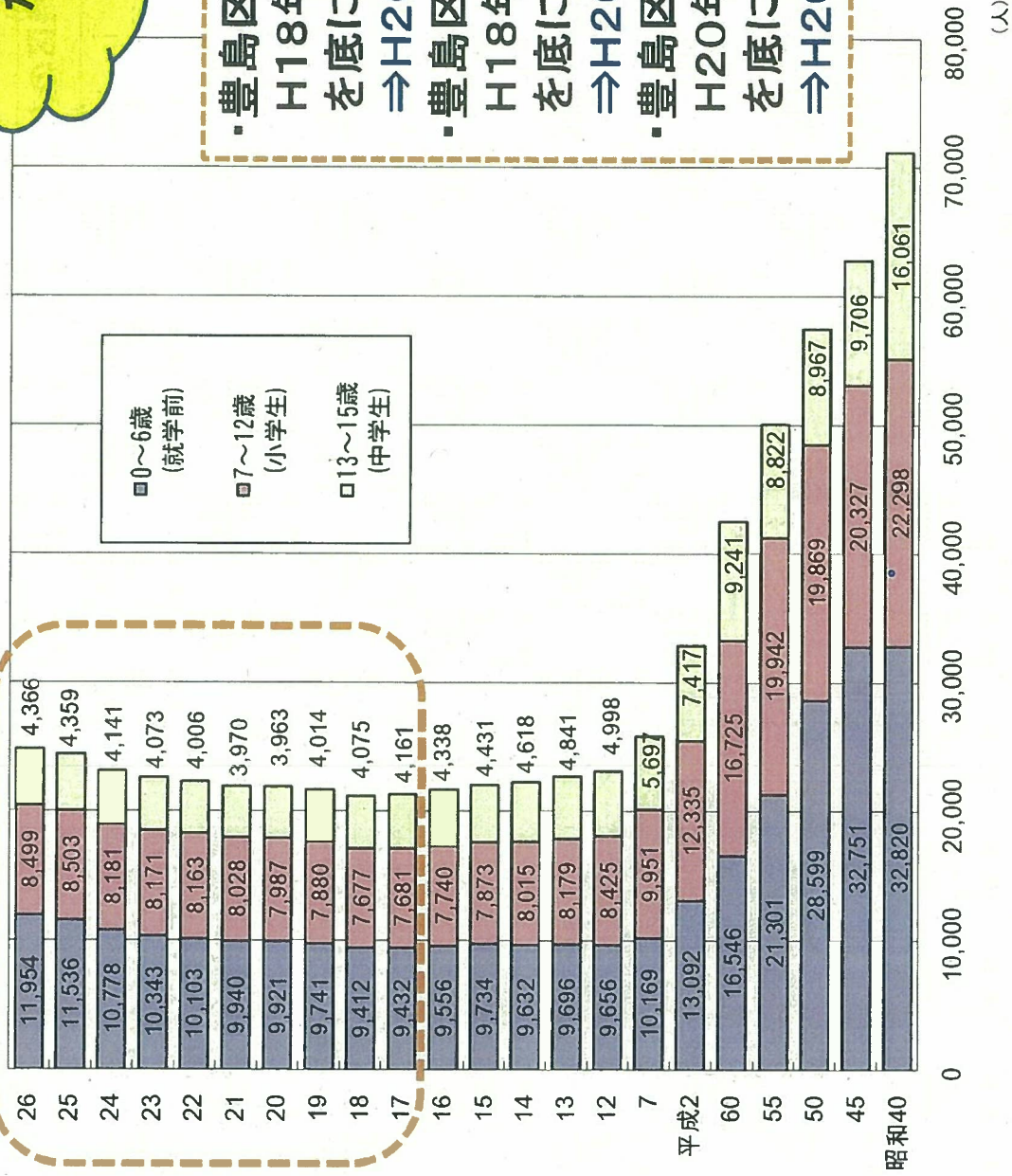


27,568人
増加

● 着実に人口が増える豊島区②

(各年1月1日現在・住民基本台帳※)

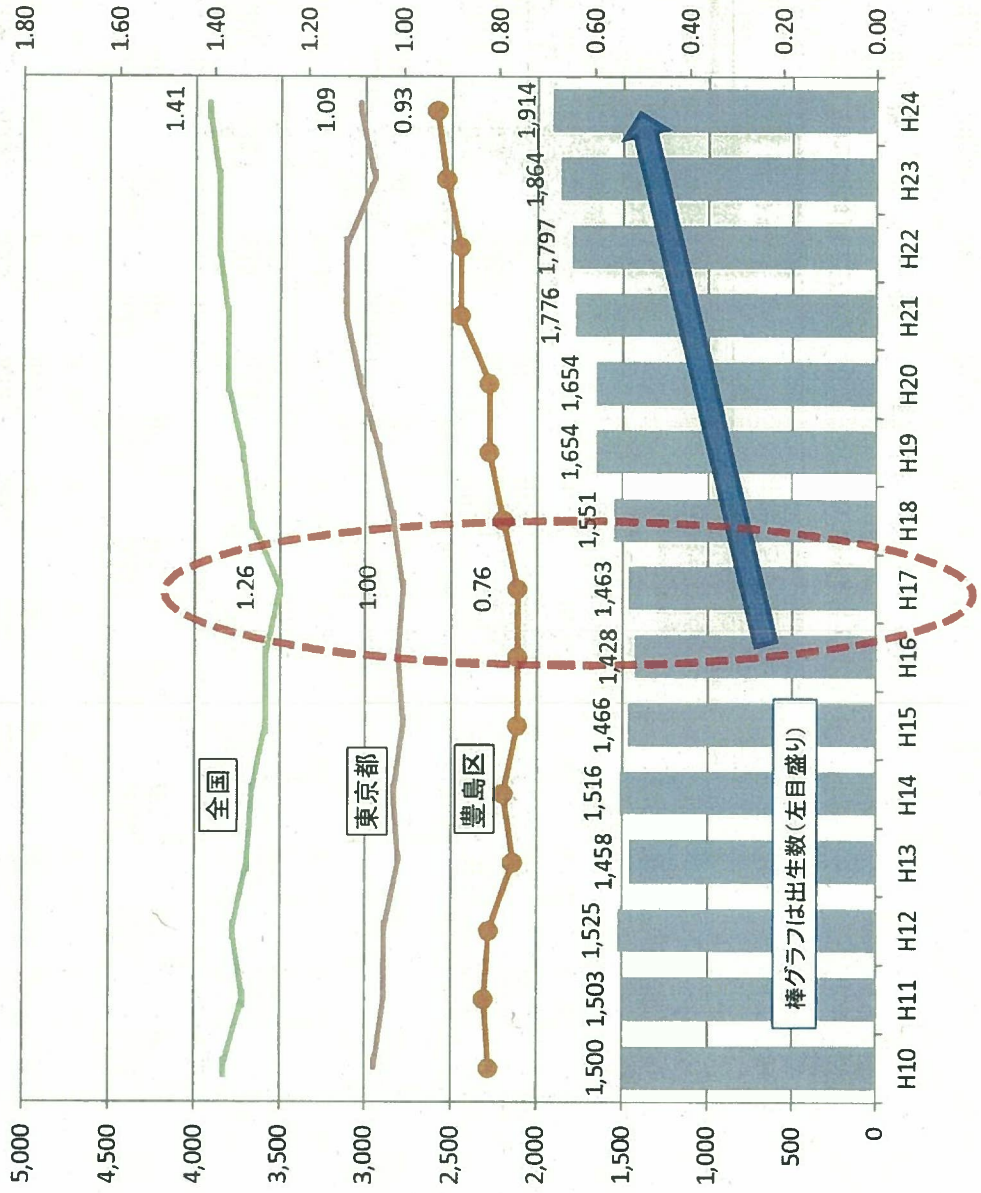
次代を担う子供たちも着実に増加中！



- 豊島区の未就学児は、H18年の9,412人を底に増加中。
⇒H26年は11,954人
- 豊島区の小中学生は、H18年の7,677人を底に増加中。
⇒H26年は8,499人
- 豊島区の中中学生は、H20年の3,963人を底に増加中。
⇒H26年は4,366人

● 着実に人口が増える豊島区③

出生数と合計特殊出生率の推移



- 豊島区の出生数は、H16年の1,428人を底に増加傾向。
- H24年は1,914人



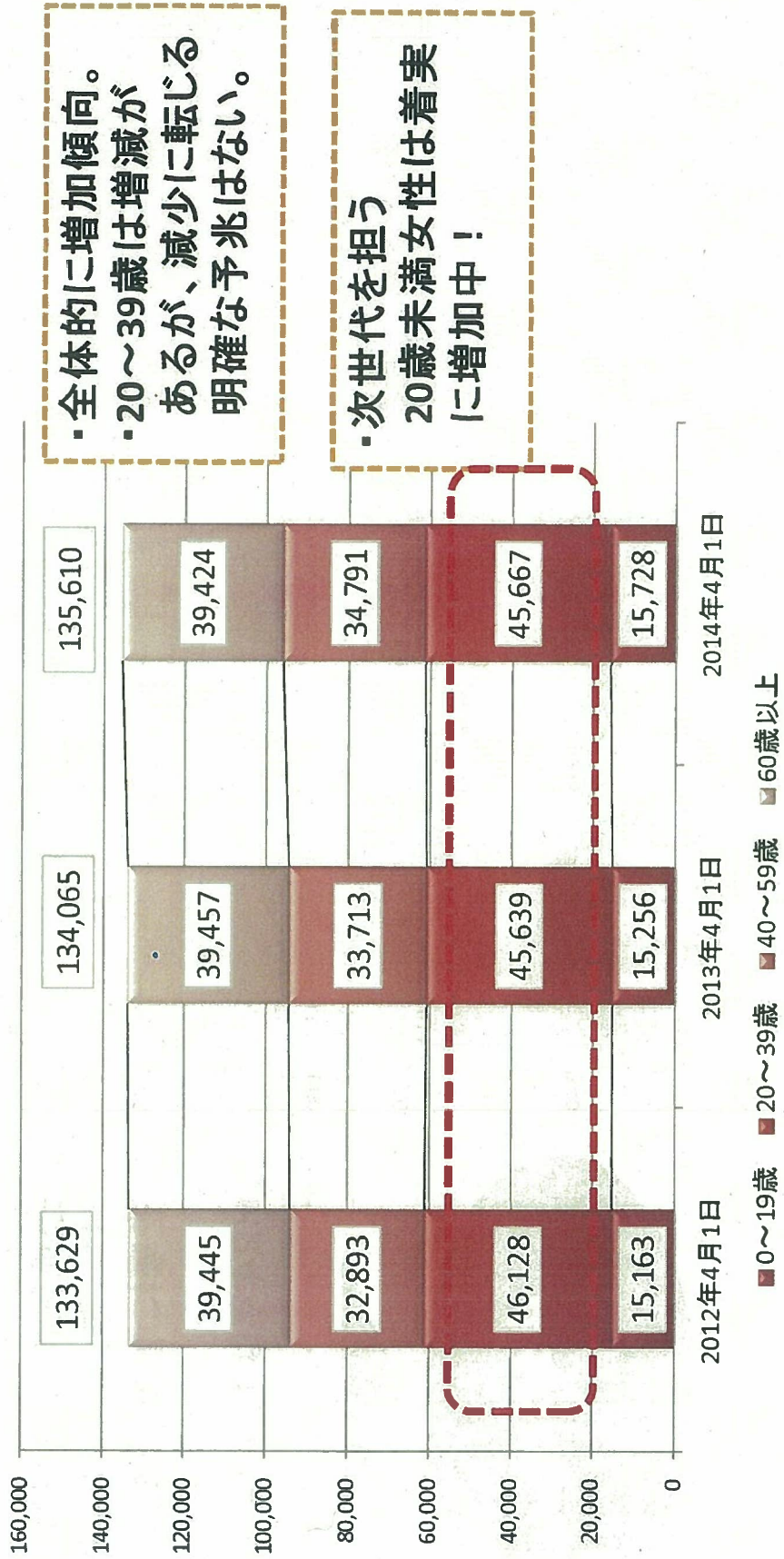
486人
増加

● 着実に人口が増える豊島区④

女性人口も
緩やかに
増加中！

女性人口(住民基本台帳、外国人含む)

2012(H24)～2014(H26) ※各年4月1日現在



「としまF1会議」について

1. 会議のコンセプト

日本創成会議による発表の中で、「再生産力」として着目された20～30歳代の女性たち。

豊島区では、今後、女性が暮らしやすい地域社会づくりの総合的な展開を進めていくにあたり、まずは、当事者であるそうした若年女性の意見やニーズを掘り起こす場として、「としまF1会議」を立ち上げます。

会議名称の「F1（※注）」は、若年世代の方々が自由に意見を出し合える場としてのイメージが伝わるようネーミングしました。また、「消滅」とは異なる、豊島区の未来「Future」のために、F1レースのようにスピード感を持って取り組む会議にしたいという思いもこめています。

注) F1とは…広告・放送業界のマーケティング用語で20歳から34歳までの女性。Fはfemaleの頭文字で、以下F2は35～49歳の女性、F3は50歳以上の女性を指す。

2. 二段階方式で会議を立ち上げていきます

① キックオフイベント

としまの未来はオンナたちが握っている？ 未来を変えたいオンナたちのワールド・カフェ大運動会

- ・運動会のようにゲーム感覚で体を動かしながら参加者間のコミュニケーションを図り、豊島区に対する現状イメージ、望ましい未来イメージをワールド・カフェの手法で引き出していきます。
- ・参加者：20歳以上の女性（豊島区在住・在勤・在学） 約100名
- ・開催時期：7月下旬（予定） 会場：区内体育館

② F1（+α）会議

女性が暮らしやすいまちは 男性にとっても暮らしやすいまちであるはず

- ・F1世代を中心に男性も含めたメンバー構成とし、様々な立場の幅広い議論を通じて、女性がくらしやすいまちづくりのための意見・要望をまとめていきます。
- ・キックオフイベント参加者の中から募集する他、WLBフォーラム交流会参加者、WLB推進事業所勤務者、子育てグループ、区内大学生などに呼びかけます。
- ・若年世代女性の仕事、出産・育児等に関する意識の把握・分析も並行して実施
- ・会議の開催 8月～12月、各月1回程度（予定） *来年度予算への反映